

# 全国協議会 ニュース

発行所  
特定非営利活動法人  
全国骨髄バンク  
推進連絡協議会  
〒160-0005 東京都  
新宿区愛住町23-1  
Woody21-9階  
TEL. (03)3356-8217  
FAX. (03)3356-8637  
発行責任者: 品川 保弘  
http://www.marrow.or.jp/  
E-mail: office@marrow.or.jp

郵便振替口座  
00150-4-15754  
銀行口座  
三井住友銀行 新宿通支店  
普通 5666655

## 市民フォーラム「素晴らしき預かりもの」に共感広まる

9月25日、東京国際フォーラムにおいて、全国協議会と日本移植者協議会の共催(特別協賛・ノバルティスファーマ株式会社)により、市民フォーラム「素晴らしき預かりもの」が開催されました。当日は台風の影響も懸念されましたが、約700名



近い入場者が会場を埋めました。第一部は、骨髄移植や臓器移植のドナー、ドナーの家族、およびレシピエントが登場し、自分の体験や思いを語りました。それぞれ、印象深く感銘を受ける話が続き、「命の大切さ」「生きることの素晴らしさ」への共感が、会場に広がりました。第二部は、狂言師で人間国宝の茂山千作さんと、そのご子息の茂山千三郎さん、ビートたけさんの兄で工学博士の北野大さん、司会の駒村多恵さん(フリーキャスター)によるトークが行われました。生きること、命の大切さなど、答えにくい問いに、気負わぬ言葉で訥々と答える茂山千作さんに、芸を極め、円熟した人間の大きさを感じま

した。最後に、茂山千作さん、千三郎さんによる狂言「寝音曲」が演じられました。見るものをその世界に引き込み、しかも腹の底から笑える、最高の舞台でした。同じ移植医療をテーマとしながら、臓器移植の関係団体とは、これまであまり接点がありませんでしたが、今回初めて、イベントを共催することができました。同じ会場で患者の作品などの展示も共同で行い、また、10月2日には、一緒に銀座をパレードするなど、共同の取り組みが広がりました。今後さらに、今回の連携の成果を生かしていくことが期待されます。(二見)

## 全国各地で続々と開催中!

### 15周年事業 いのちの輝き展

●東京  
9月23日〜26日、東京国際フォーラムにて「素晴らしき贈りもの」と題して、臓器移植で元気になったお子さん達の作



品と一緒にあやちゃん・MAM O・お手紙を展示しました。今回の展示は9月25日に開催された市民フォーラムの併催事業でもあります。有楽町駅前の一等地に立つ超豪華施設のオープンスペースギャラリーでの展示に、市民フォーラムの来場者だけでなく、他のイベントにいらしたお客様、オフィス街で働くサラリーマン等々、多くの方々が足を止めてじっくりと鑑賞してくださいました。開催にあたり設営も含め全面支援してくださったノバルティスファーマ(株)に感謝いたします。(黒川)



●山形  
9月17日〜25日、当会10周年記念事業・県内リレー「いのちの輝き」展をジャスコ山形南店で開催しました。会場は県内一

●栃木  
私たちは、今春公開された映画「火火」の上映と「いのちの輝き展」を同時開催することで多くの方に骨髄バンクへの理解を深めてもらおうと、10月1日に佐野市文化会館で「骨髄バンク支援の集い」として栃木県と共催で開催しました。約二百名

### 15周年記念事業協賛金・協賛品・一般寄付 (9月19日〜10月21日)

アステラス製薬株式会社 100,000円  
匿名 50,000円 (敬称略)  
企業、団体のほか、個人の皆様からの協賛も募っております。ご協力、よろしく願いいたします。

●広島  
10月12日〜17日の6日間、アルパーク天満屋で「いのちの輝き展」を開催しました。初めてのデパートでの開催でしたが、アドバイスを頂きながら多くの方に見ていただけたよう努力しました。

●福岡  
抜けるような青空の下10月9日、10日の2日間、福岡県と共催の骨髄バンクキャンペーン「いのちの輝き展&ドナー登録会」が福岡市植物園で行われました。今回初めて説明員として参加しました。そこでではじめて見たあやちゃんやマモクんのメッセージは心が苦しくなる思いでした。私がボランティアをしようと思ったきっかけは、私の父があやちゃんたちと同じように白血病だったからです。今では一人でも多くの患者さんに生きるチャンスを持っていただくことが、亡き父に対しての親孝行ではないかと思っています。当日は25名の方が登録して下さいました。患者さんの「生きるチャンス」に繋がる「説明員」というボランティアに参加できることを、とても誇りに感じます。(内山)

●鹿児島  
「白血病治療の最前線と骨髄バンク」をテーマに10月2日、鹿児島市のボランティアセンターでシンポジウムを開催しました。300名収容の大きなホール

の壁面にテーブルを並べ「あやちゃん展」と「著名人のメッセージ」を展示し、100名近い来場者には、言葉では表せない感動を与えてくれたと思います。(牧園)

## 銀座通りをキティちゃんが歩く



10月2日(日) NPO法人日本移植者協議会、全国協議会など9団体が東京銀座で移植医療の推進を訴える街頭活動を実施しました。当日は10月とは思えない程の暑さと照りつける太陽の下、北海道から沖縄まで総勢30名程の「骨髄バンク」集団がキティちゃんをのぼり旗やプラカードを持ちながら、買い物客でぎっしり通りを行進しました。その後、数寄屋橋交差点付近でティッシュ、チラシなどを配りながら普及啓発活動に汗を流しました。(二見)

## 12月の専門医相談日変更のお知らせ

白血病フリーダイヤルの専門医相談日は毎月第2・第4土曜日ですが、事情により、12月第2週の相談日を前週の第1週に(9月会計報告) 10月16日 全国協議会事務局

## 第55回 理事会報告

- (9月会計報告)
- (協議事項)
- 名義後援、承認案件
- 会員制度見直し(アンケート集計結果)
- 15周年記念事業進捗状況
- 理事役割分担
- ドナー登録推進に向けて
- 年賀ハガキ助成事業の進め方
- WEBサイト更新について
- 10/16新宿街頭活動に関する
- 対応について
- ドナー取材について
- 2006全国大会について
- 財団新聞報道に関する対応について
- (報告事項)
- 国際会計に関する検討会議
- 市民フォーラム準備状況
- 財団幹部との懇談会について
- 日本造血細胞移植学会



各地のたより  
写真を添えて  
お寄せください。

### 東京 品川宿場祭り

9月25日、東京の会は東京マリンロータリークラブの皆さんと一緒に、恒例の「品川宿場祭り」に参加しました。このお祭りは、北品川から青物横丁までの旧東海道一の品川宿に由来したもので、今年は第15回目になります。台風の季節のため、今年も前日の準備は冷たい雨の中で行われ、翌日の空模様も心配されましたが、当日はな



主でしたが、マリンロータリークラブの皆様からの寄付によるたくさんのお品や長野県松川町からの秋の味覚を毎年楽しみに来てくださる方がいたり、職を持つてのバレー参加時には、路上の方から骨髄バンクのチラシを求められる事もあったり、毎年の参加で少しずつ地元の方に骨髄バンクを知っていただいているように感じられました。(大熊)

### 岐阜 星野仙一 熱き心を語る

美濃加茂あじさいライオンズクラブ創立15周年記念事業として、骨髄バンクへの理解を広めようと、9月30日「骨髄バンクチャリティー講演会」星野仙一、熱き心を語る」が美濃加茂市文化会館で開催され、会場にはあふれんばかりの多くのファンが、「燃える男」星野仙一シニアディレクターの熱血トークに聞き入りました。星野さんは一昨年、阪神タイガース監督として18年ぶりに優勝に導かれ、ま

た骨髄バンクのイメージキャラクターとしてもおなじみです。講演では、監督時代の選手指導を現代の子育てに準え、「親や監督は、時には子供や選手を突き放して厳しく接することも大切である。しかし情には愛情もあれば非情もある。うまく使い分けることが大事」と話されました。(中野)

### 長崎 「骨髄バンク推進月間」 活動報告

10月の「骨髄バンク推進月間」に長崎でも3回の登録会を実施しました。長崎市主催によるペルナード観光通りでの登録会では、長崎女子商業高校の5名の協力もあり、10名の方が登録してくれました。

また、今回の登録会では11月1日〜4日まで開催する「いのちの輝き展in長崎」のPRも兼ねて行いましたが、関心度も非常に高く来場者に期待がもてております。長崎において骨髄バンクについての関心が着実に浸透しつつあるような印象を受けました。(平塚)

### 鹿児島 成果のあった 「献血併行登録会」

10月16日、霧島(旧国分)青年会議所主催の第7回ハートフルフェア会場で、献血併行登録会を開催しました。過去6回の実績では10名弱にとどまっていたが、今年は

予想を大幅に上回る23名の登録を頂くことができました。その最大の理由は登録年齢の引き下げです。あらかじめ青年会議所の呼びかけで当日ボランティア高校生20名のうち、国分高校の女子生徒4人がドナー登録会の手伝いをしてくれました。そこでまず、本年4月から登録年齢が18歳に

### リレー紹介 ボランティエアの仲間たち 牧野泰彦さん(函館)の巻

去る9月25日、函館ハーフマラソンのスタート地点である千代が競技場正面で、キティちゃんポケットティッシュ配りを行いました。函館骨髄バンクの仲間、牧野泰彦さんが、走りまですので、骨髄バンクの宣伝をしようと言う目論見でした。毎年行っておりますが、今年度は、総勢9名で配り、3500個ほど配布致しました。写真の通り、牧野さんは、「函館骨髄

引き下げになったことを話すと、高三で18歳の誕生日を過ぎていた3人が登録してくれた後、会場の若い人達に呼びかけてくれました。「話だけでも聞いてみて」と、気軽に話していたのがよい結果を生みました。2人の説明員が時間をかけ、ゆっくりと話したのも良かったのだと思います。(牧園)

バンク応援隊」と染め抜いた鉢巻を締めての参加です。この通り、筋骨隆々のスポーツマンですが、この方が、11年前には、白血病で生死の境をさまよったと信じられます。骨髄バンクを介して、誰からも分かれぬ骨髄液を提供して頂いて、健康体に戻られた患者さんの希望の星ともなるのではないのでしょうか。(松永)

## 財団全国大会 30万人達成の目標期日設定を提言

10月1日、財団主催による「骨髄バンクボランティアの集い2005」(慶応義塾大学・東京)が開催されました。今年は、骨髄バンクの登録年齢が18歳から54歳までに拡大され、記念すべき大会でした。

シャル生命社員のドナー経験者と、元患者家族でドナー登録を終えたばかりの18歳の高校生が登場しました。提供をためらっていた時に背中を押してくれたのは友人の「なんで登録したの」という言葉だったとか。ドナーが提供するためには、やはり周囲の理解と協力が欠かせないものなのだと再確認しました。

第一部の記念式典では、全国協議会の品川理事長が、来賓挨拶で、30万人達成の目標期日設定を提言しました。

第二部では、日本造血細胞移植学会会長による特別講演、ドナーコーディネーターからの報告が行われました。続いて、バンク活動に協力著しいブルデン



三菱ウェルファーマ株式会社  
http://www.m-pharma.co.jp  
創薬力



## 心からのご寄付に 感謝申し上げます

9月19日~10月21日	
㈱タクトコーポレーション	現金 30,000円
菊水酒造株式会社	現金 500,000円
学校法人花田学園	現金 1,000,000円
魚沼市立井口小学校	現金 50,000円
ノーレート麻雀ネットワークニューロン	現金 59,000円
塩谷圭	現金 2,000円
匿名	現金 580円
匿名	現金 7,915円
中村恵美子	現金 1,640円
鈴木純子	現金 1,340円
徳田ひろみ	現金 1,620円
飯島孝枝	現金 2,120円
松尾元春	現金 30,000円
吉本哲也	現金 1,000円
三須優子	現金 1,770円
鈴木ゆみ子	現金 5,000円
米倉正子	現金 5,000円
匿名	現金 3,000円
●佐藤さち子患者支援基金	
飯島孝枝	現金 1,000円
土田英順	現金 22,800円
福場健洋	現金 1,000円
MDRTソニー会	現金 264,000円
前田智夏	現金 500,000円
●白血病患者支援基金・募金箱	
ハートショップ エプロンロード	現金 3,918円
福寿草	現金 6,647円
ジャスコ都城店	現金 11,922円
ジャスコ宮崎店	現金 12,715円
株式会社ハートランド	現金 4,287円
株式会社オカダエンタープライズ	現金 86,006円
イズカ薬品大友店	現金 2,113円
株式会社クスリのアオキこばとの会	現金 95,733円
鳥取県骨髄バンクを支援する会	現金 27,377円
すし兵衛	現金 10,293円
ココストア近江屋	現金 4,928円
レストラン澤羅木	現金 6,281円
●あやちゃん基金	
福場健洋	現金 1,000円

活動資金の援助をお願いします  
銀行口座  
三井住友銀行 新宿通支店  
普通 5666655  
郵便振替口座  
00150-4-15754  
特定非営利活動法人  
全国骨髄バンク推進連絡協議会

## 骨髄バンクの最新情報をお知らせする——骨髄バンクNOW

●9月の月間ドナー登録者が「過去最多」を再更新、初の4,000人台に  
骨髄バンクでのドナー登録開始から13年9カ月で、初の4,000人台——9月の月間ドナー登録者は、8月に続き「過去最多」を2カ月連続で更新する数字となりました。電話などによる財団への問い合わせ件数は、8月に比べ13%減の3,230件にとどまりましたが、6月以降の問い合わせによって急増した「チャンス」の配布が、時期を若干ずらしての登録者増となってあらわれているともいえます。  
さらに、9月の最大の特徴は「51歳以上の登録」のスタートですが、新規(255人)と延長(187人)を合わせて442人(9月登録者総数の10.1%)となっています。未成年者の月間登録者数も「過去7カ月で最多の246人」となっており、年齢拡大が浸透していくにつれて、登録者数も増加傾向にありそうです。10月は「骨髄バンク推進月間」であり、各地で登録会や普及啓発のためのイベントが多数実施されます。

BMDWには41カ国56の骨髄バンク(1998年4月加盟の日本を含む)と、21カ国38のさい帯血バンク(東京脐帯血バンクを含む)が加盟していますが、登録HLAの照合サービスも実施しており、世界的な「国際協力態勢」をとっています。ただ、多数のドナー登録者を抱える中国(約30万人)と韓国(約10万人)が加盟していません。両国は日本とHLAの近似性があるため、早い時期でのBMDW加盟が望まれています。  
なお、9月末のデータでは、HLAのA座、B座、DR座が判明しているのは678万7,974(判明率68.1%)です。最大の骨髄バンクはNMDP(全米骨髄バンク)の413万1,936で、ドイツ(252万1,273)がこれに次ぎますが、このほかはすべて100万未満です。日本骨髄バンクの9月末現在登録データ(21万4,512)は、総数で「世界第8位」であるものの、A座、B座、DR座の判明数を見ると第5位となり、上位10バンクの判明率では「世界一(99.8%)」を誇る数字となっています。

●BMDWのHLAデータが11月16日、1,000万の大会突破へ  
Bone Marrow Donors Worldwide(世界骨髄バンクHLA型種類別データ集計システム=本部:オランダ)に登録されているHLAデータ数が、間もなく1,000万の大会を突破します。9月末現在のデータが996万7,976であり、BMDW本部の試算では11月16日が「記念すべき日」になると予測されており、加盟各国でのイベント開催などを推奨しています。

●日本骨髄バンクの現状(2005年9月末現在)				
	8月	9月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,614	4,378	218,036	279,350
患者登録者数	207	169	3,035	19,130
骨髄移植例数	67	76	—	6,785
20歳未満ドナー	207	246	1,069	—
51歳以上ドナー	187*	255**	442	—

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。  
\*51歳以上ドナーの延長数 \*\*51歳以上ドナーの新規登録数

